

# ほけんだよ 9月号

令和5年9月22(金)

みそらこども園



9月9日は「救急の日」です。救急とは、急なけがや体調不良の手当てをすること。この機会に、けがを防ぐために気をつけることをご家庭で話し合ってみてください。また、救急箱も要チェックです。

※内科検診を10月31日(火) 13時から行います。

## 交通ルールを守って、事故を防ぎましょう

1~14歳の子どもの死亡事故で最も多いのは交通事故です。小さいころから交通マナーを伝えることが、子どもの命を守ります。

### ニコモチェック ①

#### 駐車場も注意

事故は駐車場でも起こりません。道路や駐車場など、車が多い場所では、必ず手をつないで歩く習慣をつけましょう。



### ニコモチェック ②

#### 自転車の死亡事故も多い

自転車に乗っているときの事故も増えています。スピードを出さない、曲がり角では停止するなど、自転車のルールもしっかり伝えましょう。

## 交通事故を防ぐために心がけたいこと

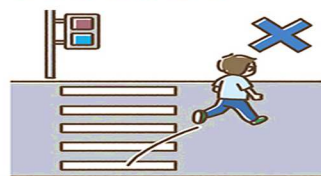
### ① 普段から交通ルールを教えましょう

朝夕の送り迎えは、交通ルールを学ぶ大切な時間。横断歩道を渡る時、歩道から飛び出さないこと、信号の意味などを伝えましょう。



### ② 大人もルールを守りましょう

急いでいると、信号を無視したり、道路を横切ったりしやすくなりますが、子どもは見ています。みんなが交通ルールを守りましょう。



### ③ 事故を招かない工夫をプラス!

- 大人が、子どもの事故を防ぐことも大切です。
- 道路の反対側から子どもを呼ばない
  - 後部座席はチャイルドロック
  - 道路で遊ばせない
  - チャイルドシートやシートベルトを正しく使うなど、できることはたくさんあります。



8月号に続き、脳の発達・脳育てについて考えていきます。

一見、普通に毎朝起きて学校に毎日行っているこどもであっても、実は朝はまだ半分寝ている子どもを無理やり起こしたり、空腹でない子どもにごはんを食べさせようとしている家庭のほうが圧倒的に多いことが小学校の調査からわかっています。もしかして皆さんは、からだの脳(一階)育てがうまくいっていない暮らしのなかで、習い事やスポーツ(二階)を無理にやらせてはないでしょうか。もちろん子どもがやりたいと言えばやらせたいのは親心です。能力を伸ばすことに力を尽くすことは構わないのですが、見落としとしてほしくないのが「バランスを欠いた脳になっていないか」です。親御さんに「どんな子を育てたいですか」という話を聞くと、「とにかく丈夫であればいい」という人はほとんどいません。規則的に呼吸をし、心拍が速すぎもせず遅すぎもせず、筋力がちゃんとあって、危険から身を守るぐらいの運動神経がある。夜になったらコトツと寝て、朝になったらパカッと起きて、いつもニコニコ元気いっぱい。そんな子がいいですという親御さんに会ったことがありません。しかし、そこが一番大切なのです。そこを土台にすべてが作られるのですから。私に言わせれば、「どんな子を育てたいですか」に対する答えは以下ようになります。

その1「からだの脳」時代は「原始人のような子」その2「おりこさんの脳」時代は「学校の勉強以外の知識欲がある子」その3「こころの脳」時代は「相手のこころを読める子」